



早稲田大学マニフェスト研究所
議会改革調査部会

【地方議会】改革の度合 市・区・町・村議会 TOP20 を公開
市議会と町議会が議会改革をリード 23区・村議会と大きな差
「議会改革度調査 2018」ランキング 早稲田大学マニフェスト研究所調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月20日、全国の地方議会の改革の取り組み度をあらかず2018年度の議会活動実績に基づく「議会改革度調査」ランキングの市・区・町・村議会別のTOP20を公開しました(市は政令市、中核市をのぞく)。



調査結果によると、市議会と町議会が議会改革をリードしている一方で、23区議会と村議会は市・町と比べて議会改革の取り組み度合に差があることが分かりました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>

<p>■市ランキング (政令市、中核市のぞく)</p> <p>1位 三重県 四日市市議会 (+1/3位) 2位 愛知県 岩倉市議会 (+10/4位) 3位 石川県 加賀市議会 (-2/5位) 4位 群馬県 桐生市議会 (-1/6位) 5位 福島県 会津若松市議会 (±0/7位) 6位 東京都 町田市議会 (±0/8位) 7位 兵庫県 西脇市議会 (+3/10位) 8位 京都府 福知山市議会 (+1/11位) 9位 新潟県 上越市議会 (-2/12位) 10位 茨城県 取手市議会 (+1/13位) * 回答数は704議会</p>	<p>▽主な取り組み</p> <p>《注目》 兵庫県 西脇市議会</p> <p>市民との意見交換を踏まえて、現状調査を行い、政策提言を行う。学童保育の早期預かり、福祉タクシー利用などを提言</p> <p>・1位 三重県 四日市市議会</p> <p>「常任委員会白書」を作成し、懸案事項・課題を把握。2018年度は「四日市市障害を理由とする差別の解消を推進する条例」「四日市市防災対策条例」の議員提案条例を制定した。</p> <p>・2位 愛知県 岩倉市議会</p> <p>委員会代表質問を実施し、政策提言を行っている。他議会からの行政視察にサポーターが参加し発言。4チーム(ICT・機能強化・議会基本条例逐条解説・事務局強化)を編成し、ICT利用促進基本計画の立案や事務局強化のための条例改正を行った。</p>
<p>■東京23区ランキング</p> <p>1位 墨田区議会 (+1/200位) 2位 品川区議会 (-1/253位) 3位 杉並区議会 (+2/-位) 4位 豊島区議会 (+2/-位) 5位 江戸川区議会 (+4/-位) 6位 足立区議会 (+2/-位) 7位 千代田区議会 (-4/-位) 8位 北区議会 (+12/-位) 9位 大田区議会 (+1/-位) 10位 板橋区議会 (+1/-位) * 回答数は23議会</p>	<p>▽主な取り組み</p> <p>《注目》 杉並区議会</p> <p>議案や関連資料をネットに事前公開。全員協議会の議事録もネット公開。政務活動費を第三者がチェックしている。議会傍聴の一時保育制度を実施。</p> <p>・1位 墨田区議会</p> <p>夜間議会や議事堂以外での委員会開催を実施。視察や政務活動費領収書をネットで公開している。その他、模擬議会を実施、議会改革の実行計画を策定。「子ども読書活動推進条例」を制定。スクリーンを設置するなど。</p> <p>・2位 品川区議会</p> <p>学校への出張出前授業、ワークショップ形成の意見交換を実施。</p>

※次ページで町議会と村議会のランキングをご紹介します(ページ1/3)

◇ 今後、「議会改革度調査2018」の新たな情報は下記早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局:担当 長内、青木
TEL: 03-6214-1315 E-MAIL: mani@maniken.jp HP: <http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>

▶前ページ市と23区ランキングから続く (ページ 2/3)

<p>■町ランキング</p> <p>1位 北海道 芽室町議会 (±0/1) 2位 神奈川県 箱根町議会 (+1/16) 3位 北海道 栗山町議会 (-1/23) 4位 北海道 福島町議会 (±0/30) 5位 長崎県 小値賀町議会 (±0/33) 6位 神奈川県 大磯町議会 (+4/43) 7位 宮城県 柴田町議会 (+5/47) 8位 長野県 軽井沢町議会 (±7/49) 9位 埼玉県 三芳町議会 (-1/58) 10位 北海道 浦幌町議会 (+4/67) * 回答数は499議会</p>	<p>▽主な取り組み</p> <p>◀注目▶ 北海道 栗山町議会 日本で初めて議会基本条例を制定した議会。議員がファシリテーターをつとめ、子育て世代や若者の団体を対象とした出前型の議会報告会を開催。</p> <p>・1位 北海道 芽室町議会 政策形成サイクルに基づく議会運営を推進。地元社会に対する当事者意識の早期形成の意義と必要性を学ぶ「多様な住民による対話の場」として『未来フォーラム』を開催。</p> <p>・2位 神奈川県 箱根町議会 委員会調査として行う視察や政務活動費を使って行う視察の内容をネット公開。議会基本条例に基づく実行計画を作成。</p>
<p>■村ランキング</p> <p>1位 長野県 喬木村議会 (+1/124) 2位 長野県 宮田村議会 (+2/240) 3位 沖縄県 読谷村議会 (+3/-) 4位 長野県 南箕輪村議会 (-3/-) 5位 茨城県 美浦原村議会 (-2/-) 6位 福島県 湯川村議会 (+2/-) 7位 山梨県 鳴沢村議会 (+3/-) 8位 千葉県 長正村議会 (+1/-) 9位 岩手県 田野畑村議会 (+2/-) 10位 長野県 中川村議会 (+8/-) * 回答数は101議会</p>	<p>▽主な取り組み</p> <p>◀注目▶ 沖縄県 読谷村議会 自主防災組織を持つ自治会やわんぱく広場を運営する自治会、商工会と意見交換会を行い、村長に政策提起を行なっている。</p> <p>・1位 長野県 喬木村議会 兼業議員を含め多様な人材が議員活動しやすい環境を整えようと、休日夜間議会の試行や、若者世代と議会との研修会を実施。</p> <p>・2位 長野県 宮田村議会 学校への出張出前講座や模擬議会の実施、議会と語ろう会ではママサポートの会など若者や若子育て世代との意見交換を実施。</p>

■自治体区分別の特徴

▽市・23区 (政令市、一般市を除く)

- 市ランキング TOP10 には、総合順位 3 位から 13 位までの 10 議会が順にランクイン。岩倉市議会と取手市議会は昨年より順位を上げて TOP10 入りした。
- 分野別「住民参加」の総合順位で岩倉市議会は全国 1 位、取手市議会はそれに次ぐ 2 位にランクイン。
- TOP10 入りした市議会は総合順位でも上位であり、市議会は特に改革が活発であることが分かる。
- 一方、墨田区議会が 23 区で 1 位にランクインしているものの、総合順位では 200 位。市ランキングが総合順位で上位に入ったのとは対照的。

▽町・村

- TOP10 入りした町議会の特徴として、分野別の住民参加の取り組みが進んでいることが挙げられる。モニター制度や、未成年を対象としたシティズンシップ推進を通して住民参加に取り組む議会が多い。
- その他、分野別では情報共有で取り組みが進む大磯町議会、議会機能強化で取り組みが進む福島町議会、小値賀町議会、柴田町議会があり、それぞれ取り組みの力点に違いが見える。
- 一方、村議会 TOP10 のうち、1 位 喬木村議会、2 位 宮田村議会を除いては、総合順位 300 位以内にランクインする議会がなく、町議会と村議会の取り組みに大きな差が出ているといえる。

▽市区町村全体

- 市議会と町議会が議会改革をリードしている一方、23 区議会と村議会では市・町の取り組み具合と大きな開きがあることが分かった。

▶次ページで上位議会の主な特徴と早大マニ研の見解をご紹介します (ページ 2/3)

▶前ページ町村ランキングから続く (ページ 3/3)

■上位議会の主な特徴 (早稲田大学マニフェスト研究所の見解)

- ① 議会基本条例を軸に「議会改革のPDCA サイクル」をまわしている
- ② 「住民と対話する機会」を工夫しながら実施している
- ③ 「議員のなり手不足」対策に真摯に取り組む

<解説>議会改革を推進するためには、体系立てて議会のあり方を示した「議会基本条例」を制定するとともに、住民目線で検証し改善し続けることが肝心。上位議会は加えて、議会活動への理解・信頼を得るために、「住民と対話する機会」開催や「議員のなり手不足」対策に積極的に取り組んでいる。

▼議会改革度調査 2018 について

【調査概要】 2019年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し、1,447議会が回答。(回答率81%)。2010年度から今回で9回目の調査となる。

【調査目的】

- (1) 全国の議会改革がどのような状況・傾向にあるか、確認する指標として活用する。
- (2) 議会自身が改革度を数値で把握することで自己評価や改善をし、善い政治を競う「善政競争」を促す。

【調査の観点】 議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度合を数値化し、ランキング化した。

- (1) 情報共有 (本会議などの議事録や交際費・視察結果の公開具合と検証)
- (2) 住民参加 (傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取)
- (3) 議会機能強化 (議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況)

【配点ポイント】 調査を開始した2010年の頃は『議会がどのような活動を行っているのか』を重点としていたため、様々な活動をしている議会が高得点となり、ランキングでも上位になっていました。

その後、「議会が活動しても、それが地域の課題を解決したり、地域の未来を創造することにつながっていなければ議会は本来の役割を果たしたとは言えないのではないか」という観点に立ち、『地域経営に貢献する議会活動』に着目するようになり、毎年配点区分の修正を行ってまいりました。

「議会改革度調査2018」では、その視点を更に進化させ、次のような活動に更に注目しました。

- 議会活動の振返りを実施したか (自己&第三者や住民と共に)
- 住民との意見交換の機会を設け、そこから課題解決に向けた政策立案に取り組んでいるか
- 総合戦略など地域経営にとって重要な指標について議会がチェック機能を果たす取組をしているか

◆取材のお願い◆ 8月1日-2日@東京ビッグサイト

「全国地方議会サミット 2019 チーム議会の醸成と成熟(仮)」

1,000人の議員・事務局が一堂に会し、「地方議会から日本を変える」ための場面転換をこの場から。

【登壇】 片山善博・教授、江藤俊昭・教授、廣瀬克哉・教授、北川正恭・早大名誉教授、その他 学識者、先進議会等

【日時】 8月1日(木) 13:00~17:30
2日(金) 09:30~16:00

【場所】 東京ビッグサイト 7階 国際会議場

【対象】 議会議員、議会事務局職員、一般 総計1,000名

【主催】 ローカル・マニフェスト推進連盟、マニフェスト大賞実行委員会 **【共催】** 早稲田大学マニフェスト研究所
▶詳細はこちら <http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>



<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局:担当 長内、青木

TEL: 03-6214-1315 E-MAIL: mani@maniken.jp HP: <http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>